

活動報告

団体名	Keiwa HOPE
活動名	若い力を被災地に。Keiwa HOPE による災害復興支援活動（千葉）
活動期間	2019/10/01～2020/3/31
活動の成果	<p>南房総市災害ボランティアセンターからの派遣要請に応える形で、当センターにおいて、ボランティア活動者の受け入れ・マッチング、被災者宅訪問・実地調査、備品仕分け等を行った。これまで私たち Keiwa HOPE が携わってきた被災地支援活動は、メンバーが力仕事、肉体労働をメインに実施してきた。今回の活動は、これまでメンバー自身がマッチングを受けてきた、災害ボランティアセンターにスタッフとして従事した。今回の災害では、被災地が広範囲にわたっていたためスタッフ数が不足している中で派遣要請に応える形となった。</p> <p>人員不足による、実地調査が進まない、ボランティア人数が集まらない、ゆえにスタッフの休暇がとれない、といった中での活動だったため、メンバーが現地入りをする事で、10日ぶり、2週間ぶりに休みがとれました、といった感謝の言葉を聞くこともできた。どの災害も同様だが、被災者の中には「自分はこれだけの被害だから」といった遠慮の気持ちが働き、SOSをうまく出し切れずにいることが多いが、学生が被災者（特に高齢者宅）に何うことにより、弱音を吐きだしやすく、何に困っているか、を聞き出すことができたように感じる。また、災害ボランティアセンターにおいても、連日、従事していた行政や社協職員の方々との協力体制のもと、スムーズに活動をする事ができたと感じる。学生メンバーから見ると、普段、関わる事の無い業務、大人と関わる事ができ大変成長したように感じる。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>私たち Keiwa HOPE にご支援をいただき誠にありがとうございました。我々は多くを大学生が占めているため、高所作業（屋根上など）の専門スキルを携えているわけでもなく、人文系大学のため医療系知識も携えておりません。あるのは、「困っている人の力になりたい」という心と「どんな力仕事でもやります」という元気な体のみです。そんな私たちの活動に対して、ご理解・ご協力をいただきましたこと、誠に感謝しております。いつもながら、活動に参加するたびに被災者の方々に逆に支えられながら、活動に従事しております。そのたびに多くの出会い、学びを与えられ、大きな成長の糧となっております。私たちの活動が少しでも被災者の皆さまが日常を取り戻す一歩となるように、またご支援いただいている皆さまの気持ちを私たちが恩返しできるよう、これからも精進していきます。この度は誠にありがとうございました。</p>

(活動のようす)

